

江東区民スポーツ大会 大会規定及び注意事項《学童》

1. 試合回数 6回戦とする。日没・降雨時の試合成立回数は4回終了時とする。
2. 試合時間 1時間30分とし、以降新しいイニングに入らない。
3. コールドゲーム 4回10点差以上、5回以降7点差以上とする。
4. 延長 6回終了時または規定の試合時間を超えた時点で同点の場合、タイブレーク（無死一・二塁、継続打順）を最大2回行う。それでも同点の場合は抽選で勝敗を決定する。
5. 投球制限 1日70球以内とする。70球に達した時点で、その打者の打撃完了まで投球できる。一度投手から他の守備位置についた場合でも、70球に達するまでは同一試合内で投手に戻ることができる。4年生以下の選手は投手をすることはできない。
6. タイム 監督が一試合で投手のところへ行ける回数、守備側タイムと攻撃側タイムはそれぞれ3回以内とする。タイブレークに入った場合は、1イニングにつき1回とする。
7. 適用規則 当該年度の公認野球規則および競技者必携とする。当大会で別途規定する場合は、これを優先する。
8. ベンチ 組み合わせ番号の若いチームが一塁側とする。
9. 先攻・後攻 審判員が立会のもと、主将のジャンケンで決める。
10. 試合前の練習 大会規定補足を参照すること。
11. 抗議権 監督および当該プレーヤーのみとし、ルール上のアピールのみとする。
12. 用具 用具類はJSBB公認のものとし、両耳ヘルメットは8個以上用意すること。捕手はヘルメット・マスク・プロテクター・レガース・ファウルカップを着用すること。控え捕手はファウルカップを着用しなくてもよい。
13. ベンチ入り 選手25名以内、監督、コーチ2名、代表者、スコアラーがベンチに入ることができる。子どもたちへの給水等のために、保護者2名以内もベンチ入りすることができる。試合開始時点又は終了時点で、選手が9名未満の場合は棄権とする。
14. 代理監督 登録されているコーチが担当できる。大会本部に申請し、指定された名札を付けてベンチに入ること。
15. 服装 選手・監督・コーチはチームで統一されたユニホームを着用すること。代表者とスコアラーは指導者らしい服装とすること。
16. マナーアップ 攻守交代は駆け足で行い、挨拶や用具の整頓等マナーを徹底すること。
17. 暴言・暴力等 指導者による選手及び審判への暴言・暴力的行為は厳禁とする。相手チームに対しても同様とする。鳴り物による応援は禁止とする。
18. グラウンドルール 各球場にて定め、試合開始前に審判より各監督に説明する。
19. 駐車場 駐車は係員の指示に従い、指定の場所を厳守すること。球場によっては駐車場が無い場合があるので、事前に確認すること。